

令和 6 年 8 月 22 日開催

**令和 6 年度第 1 回上越市博物館協議会資料  
(歴史博物館)**

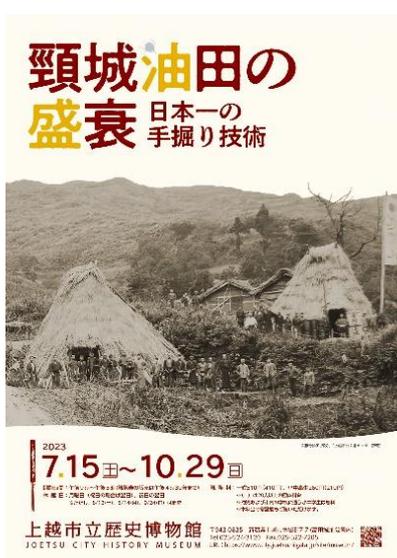
- |                     |          |       |
|---------------------|----------|-------|
| (1) 令和 5 年度事業実施状況   | ・・・・・・・・ | 1～7 頁 |
| (2) 令和 7 年度事業計画 (案) | ・・・・・・・・ | 8～9 頁 |

# 上越市立歴史博物館 令和5年度事業実施状況

## 1 展覧会事業

展覧会名	会 期	内 容	入館者数（うち展覧会観覧者数）
《逸品展示》 どうする康政 榊原資料展	3月25日（土） ～ 6月18日（日） （71日間+R4・6 日間） ※観桜会・GW期 間無休	NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて、榊原康政の生涯を紹介した。  （観桜会前倒しに伴い、会期を前倒しして開催）	目標：30,000人 入館者数（R5のみ）： 26,494人 （4,455人） 満足度：92.0%
《企画展Ⅰ》 頸城油田の盛衰 －日本一の手掘り 技術－	7月15日（土） ～ 10月29日（日） （97日間） ※観蓮会期間無休	古くから「燃える水」として朝廷に献上された越後の石油（くそうず）は、江戸時代の終わりから明治時代にかけて地域の産業の柱へと成長を遂げた。日本で初めてとなる送油鉄管（パイプライン）が敷設された玄藤寺油田（板倉区・清里区）を始め、牧油田、名立飛山油田、郷津油田など、明治時代に日本を代表する油田であった「頸城油田」を紹介し、上越市全体の石油産業史をまとめた。	目標：18,700人 入館者数： 19,309人 （5,000人） 満足度：91.0%
《企画展Ⅱ》 探検！むかしのく らし	11月25日（土） ～ 令和6年 3月10日（日） （87日間）	歴史博物館で所蔵する豊富な民俗資料の中から、家事にかかわる道具や生活を豊かにした道具などを展示し、大正から昭和時代のくらしの移り変わりを紹介した。本展は小学3年生の社会科学習に合わせて毎年開催しており、学校見学時には資料解説を行うとともに、児童向けワークブックを無償配布して学習をサポートした。	目標：11,200人 入館者数： 9,062人 （3,198人） 満足度：97.0%
《特集展示》 高田盲学校資料展	令和6年 3月29日（金） ～ 6月16日（日） （R5・3日間 +R6・69日間）	令和元年度から令和5年度にかけて当館が参画した「守れ！文化財～モノとヒトに光を灯す～」事業（文化庁 Innovate MUSEUM 事業、中核館 新潟県立歴史博物館）で資料整理・調査を行った高田盲学校関係資料を紹介した。	入館者数（R5のみ）： 687人（90人）

常設展のみ	57 日間	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施した。	目標：8,100 人 入館者数： 9,211 人 (1,710 人) 満足度：95.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数：311 日</li> <li>・目標入館者数は 68,000 人（企画展開催期間：59,900 人、常設展のみの期間：8,100 人）。</li> <li>・入館者数実績は 64,763 人（企画展開催期間：55,552 人、常設展のみの期間：9,211 人）</li> <li>・目標満足度を 80%とする。（満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合）</li> </ul>			



令和 5 年度  
企画展「頸城油田の盛衰」チラシ



令和 5 年度  
企画展「むかしのくらし」チラシ

## 2 教育普及事業

### (1) 展示解説会

展覧会名	内容
《企画展Ⅰ》 頸城油田の盛衰 — 日本一の手掘り技術 —	日 時：令和 5 年 7 月 29 日（土）、8 月 6 日（日）、 8 月 20 日（日） 時間はいずれも 10:30～11:30 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：56 人
《企画展Ⅱ》 探検！むかしのくらし	小学校数：48 校（このうち市内 43 校） 児 童 数：1,560 人（このうち市内 1,384 人）

※土日祝日と観桜会・ゴールデンウィーク期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行った。

## (2) 視察・団体の見学対応

視察・団体の申込みの際に展示解説の依頼があった場合、随時対応を行った。

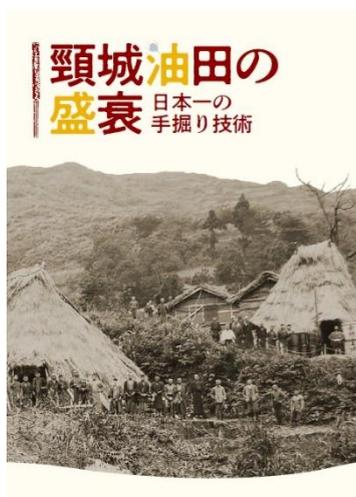
・対応人数：14件 481人

## (3) イベント

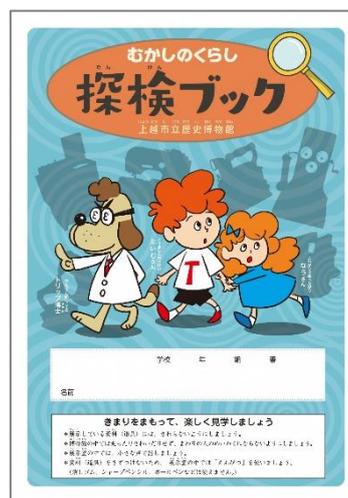
イベント名	内 容
岡沢拠点収蔵施設公開	内 容：国重要有形民俗文化財の「どぶね」のほか約3万点の民俗資料を収蔵する岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行った。 日 時：令和5年5月6日（土）、8月10日（木）、8月11日（金・祝） 時間はいずれも10:00～16:00 参加費：無料 入館者数：35人
「国際博物館の日」記念事業に伴う施設無料開放	内 容：ICOM（国際博物館会議）の「国際博物館の日」記念事業に協力するため、高田城址公園内の歴史博物館・高田城三重櫓を無料開放した。 日 時：令和5年5月21日（日） 9:00～17:00 入館者数：565人 ※高田城三重櫓は689人
教育コラボ 2023 学び愛フェスタ 関連イベント「わくわく☆クイズラリー「お城へGO！」	内 容：学び愛フェスタ関連イベントとして、展示内容を知ってもらうとともに施設回遊の機会とするため、歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館を会場にクイズラリーを実施した。 日 時：令和5年11月18日（土） 9:00～17:00 対 象：市内の幼児及び小中学生 参加費：無料 参加者数：34人 ※歴史博物館14人、高田城三重櫓11人、日本スキー発祥記念館9人
教育コラボ 2023 学び愛フェスタに伴う施設無料開放「親子で学ぼう！ 上越のれきし」	内 容：学び愛フェスタの開催にあわせて、歴史博物館と所管する高田城三重櫓、日本スキー発祥記念館において市内小中学生と同伴の保護者1名の入館料を無料とした。 日 時：令和5年11月18日（土） 9:00～17:00 入館者数：63人 ※歴史博物館25人、高田城三重櫓21人、日本スキー発祥記念館17人

#### (4) 刊行物

刊行物名	内容
企画展パンフレット『頸城油田の盛衰 －日本一の手掘り技術－』	企画展パンフレットとして作成。 (規格：A4判24頁、印刷部数：1,000部、頒布価格：500円)
小学生用ワークシート『探検！むかしのくらし 探検ブック』	小学3年生の社会科学習にあわせたワークシートを作成し、来館する小学生3年生に無償配布した。 (規格：A4判8頁、印刷部数：2,500部)
『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第4号』 ※歴史博物館ホームページ上でデジタル版を公開	掲載内容： (1) 年報 I 博物館の運営 II 令和4年度(2022)事業報告 III 条例等 IV 職員一覧 (2) 紀要 【史料紹介】高田藩の宝暦地震史料 (花岡公貴副館長執筆)



企画展パンフレット『頸城油田の盛衰』



小学生用ワークシート『探検！むかしのくらし』

#### (5) 博物館実習

博物館実習は小林古径記念美術館と共同で実施した。

実習期間	実習生の所属大学	内容
令和5年8月1日(火) ～8月5日(土) [5日間30時間]	富山大学芸術文化学部 申込者1名	講義：「資料の保存管理」「地方博物館の現状」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生

(6) 出前講座・職員派遣

講座名	内 容
【出前講座】 公益財団法人旧高田藩和親会主催 令和5年度 第60回和親会総会 講演	期日：令和5年5月13日（土） 内容：榊原家の発祥と康政の系譜 会場：宇喜世 参加者数：50人
【出前講座】 公益財団法人旧高田藩和親会主催 第一回 扇和会歴史講座	期日：令和5年6月10日（土） 演題：金谷山公園にある墓誌・墓碑 会場：金谷山公園 参加者数：25人
【出前講座】 上越教育大学主催 上越地域の歴史・文化に触れる体験 (高田町歩き見学)	期日：令和5年6月14日（水） 演題：上越地域の歴史・文化に触れる体験 会場：町屋交流館 高田小町、旧今井染物屋 参加者数：10人
【出前講座】 上越市社会教育課主催 謙信 KIDS プロジェクト「城と武将」	期日：令和5年7月23日（日） 演題：高田城と武将たち 会場：上越市立歴史博物館・高田城址公園内 参加者数：15人
【出前講座】 新潟日報カルチャースクール上越教室主 催 徳川家康と上越	期日：令和5年7月24日（月）、8月28日（月）、 9月25日（月） 内容：徳川家康と上越 会場：新潟日報カルチャースクール上越教室 参加者数：15人
【出前講座】 清里地区公民館主催 清里地区公民館事業「大人の楽習塾」	期日：令和5年8月4日（金） 内容：頸城油田の盛衰－日本一の手堀り技術－ 会場：上越市立歴史博物館 参加者数：14人
【出前講座】 高田ロータリークラブ主催 第6回例会 卓話	期日：令和5年8月25日（金） 演題：頸城油田の盛衰－日本一の手堀り技術－ 会場：デュオ・セレッソ 参加者数：45人
【出前講座】 高田地区公民館主催 今一度、知ろう！伝えよう！私たちの郷土	期日：令和5年9月15日（金）、11月24日（金） 内容：高田藩の歴史・上越の近代を拓いた先人たち 会場：高田地区公民館 参加者数：25人

<b>【職員派遣】</b> 新潟県社会福祉協議会主催 シニアカレッジ新潟 基礎応用過程2年次	期日：令和5年9月22日（金） 演題：新潟県の歴史（上越編） 会場：高陽荘 参加者数：27人
<b>【出前講座】</b> 公益財団法人 旧高田藩和親会主催 第14回 郷土史フォーラム講演 コーディネーター	期日：令和5年10月28日（土） 演題：榊原家当主の江戸城 会場：高陽荘 参加者数：70人
<b>【職員派遣】</b> 新潟大学非常勤講師	期日：令和5年10月25日（水）、11月8日（水）、11月15日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者数：130人

### (7) 人権・同和問題研修会

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校および教育委員会職員対象（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）の人権・同和問題研修会を行った。この他、高等学校などから依頼があった場合には随時対応した。

研修名	内容
学校教育課主催研修	対象：小中学校、教育委員会職員（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員） 期日：5月2日（火）、5月11日（木）、5月17日（水）の3日間 参加者数：延べ77人
新潟県高等学校校長・副校長・教頭協会主催、人権教育専門委員会合同現地研修会	対象：県内高等学校校長・副校長・教頭 期日：8月18日（金） 参加人数：17人
高等学校依頼による研修	対象：高田商業高等学校 期日：8月25日（金） 参加人数：11人

## 3 調査研究事業

### (1) 民俗資料整理作業

- ・平成29年度以降の新規受入れ資料のクリーニング・台帳整備を行った。
- ・資料の適正管理のため、岡沢拠点収蔵施設の清掃作業を定期的実施した。

(2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数：4件5点（歴史資料3件3点、参考図書1件2冊）
- ・寄贈数：32件1,319点（歴史資料16件1,138点、民俗資料16件181点）

(3) 調査研究事業

- ・令和5年度企画展「頸城油田の盛衰」開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理

4 入館者数

【令和5年度 上期（4月～9月）】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
開館日数	28日	27日	26日	26日	28日	26日	161日
総入館者数	17,543	6,448	4,202	5,373	6,559	4,479	44,604
展示観覧者数	1,729	2,108	878	1,205	1,807	1,092	8,819
有料観覧	1,541	1,357	777	1,102	1,632	952	7,361
無料観覧	188	751	101	103	175	140	1,458
無料ゾーン利用者数	15,814	4,340	3,324	4,168	4,752	3,387	35,785

【令和5年度 下期（10月～3月）】

（単位：人）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間合計
開館日数	26日	25日	24日	24日	25日	26日	150日	311日
総入館者数	4,761	4,363	1,909	2,236	3,382	3,508	20,159	64,763
展示観覧者数	1,242	925	384	923	1,357	803	5,634	14,453
有料観覧	1,044	861	280	260	505	577	3,527	10,888
無料観覧	198	64	104	663	852	226	2,107	3,565
無料ゾーン利用者数	3,519	3,438	1,525	1,313	2,025	2,705	14,525	50,310

【開館以来の入館者数の推移】

（単位：人）

	開館日数	総入館者数	展示観覧者数			無料ゾーン利用者数
			有料	無料	合計	
平成30年度※1	215日	41,134	11,186	4,918	16,104	25,030
令和元年度	315日	82,741	12,682	4,316	17,088	65,743
令和2年度	278日	45,558	8,312	3,371	11,683	33,875
令和3年度	310日	61,175	12,555	3,759	16,314	44,861
令和4年度	311日	66,911	10,886	3,747	14,633	52,278
令和5年度	311日	64,763	10,888	3,565	14,453	50,310

※1：平成30年度は7月21日からの入館者数

令和 6 年 8 月 22 日開催

## 令和 6 年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

(1) 令和 5 年度事業実施状況	・・・・・・・・・・	1～14 頁
(2) 令和 7 年度事業計画 (案)	・・・・・・・・・・	15～17 頁

# 上越市立水族博物館 令和5年度事業実施状況

## 1 展示の状況

常設展示の展示替えや各種プログラムの実施などにより展示の充実を図るとともに、特別展及び企画展を開催し、施設の魅力や学習効果を高めた。

### (1) 常設展示の状況

事業内容	期 間	内 容
イワシ給餌イベント「舞鰭 Shinyllusion」の実施	通年	躍動感あふれるイワシの群れの動きを紹介するために、複雑な擬岩を備えるうみがたり大水槽の特徴をいかしたイワシの給餌イベント「舞鰭 Shinyllusion」を実施した。
マゼランペンギンの繁殖		高病原性鳥インフルエンザの防疫措置として全個体を令和5年5月6日までの長期間にわたり屋内に収容（3月頃が繁殖時期）した影響により、繁殖数は大幅に減少し、1羽のみの繁殖となった。
ドルフィンパフォーマンスの実施	4月13日(木)～ 11月19日(日)	季節に合わせたテーマ（春、夏、秋）を設定し、演示展示の内容を変更することで、バンドウイルカの有する様々な能力を紹介した。
ペンギンフィーディングの実施	5月8日(月)～ 通年	新型コロナウイルス感染症対策として休止していたペンギンフィーディング（給餌体験）を5月8日から再開した。
水中ドルフィンパフォーマンス「Art of Dolphin」の実施	11月20日(月)～ 翌年度4月14日 (日)	屋外でのパフォーマンス実施が困難になる冬期の演示展示として、水中でのドルフィンパフォーマンスを実施した。
イワシ給餌イベント「舞鰭 Shinyllusion ～Japanese Snow Dome～」の実施	12月27日(水)～ 3月17日(日)	「舞鰭 Shinyllusion」の冬期限定施策として、水槽の各所に泡が発生する装置を設置。イワシの躍動感に加え幻想的な雰囲気 연출した。

### (2) 特別展・企画展の実施状況

事業内容	期 間	内 容
マンスリー水槽の設置	通年	学習機会の増加、話題創出を図るための企画として、月単位で担当者いちおしの生物を設定し展示を更新するマンスリー水槽を設置し、情報発信を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月：ハリセンボン</li> <li>・5月：カナガシラ</li> <li>・6月：サクラダンゴウオ</li> <li>・7月：ハス</li> <li>・8月：カクレクマノミ</li> <li>・9月：ヒメジ</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月：イガグリガニ</li> <li>・11月：クルマエビ</li> <li>・12月：フサギンボ</li> <li>・1月：テヅルモヅル</li> <li>・2月：ケムシカジカ</li> <li>・3月：ネオンテトラ、カージナルテトラ</li> </ul>
特別展「生きものがかたる造形美～富田伊織 新世界『透明標本』より～」の開催	前年度 3月21日(火)～5月21日(日)	生物の透明標本をテーマとして、透明標本作家として著名な富田伊織氏の作品を展示するとともに、透明標本の作製方法や魅力などを解説パネルで紹介した。
特別展「さとやま AQUARIUM」の開催	9月23日(土)～11月19日(日)	上越環境科学センターとの協働で希少性の高い淡水生物、昆虫、植物を展示。併せて上越地域の里山に生息する哺乳類の剥製を展示したほか、五智公園でガイドツアーを実施した。 ・展示生物：オイカワ、ウグイ、ミズカマキリ、アズマヒキガエル、ニホンカナヘビなど
特別展「祝1歳！うみがたりのゴマフアザラシ #フタバ誕生祭」の開催	1月17日(水)～3月11日(月)	1歳を迎える当館初のゴマフアザラシの繁殖個体「フタバ」を祝う施策として、生い立ちや特徴をパネルで紹介。その他水中イベントや誕生日当日イベントを実施した。
特別展「鈴木香里武×うみがたり ごきげんようぎょ展」の開催	3月20日(水)～翌年度 6月9日(日)	岸壁幼魚採集家の鈴木香里武氏との共同施策として、幼魚の展示や解説、幼魚採集方法の解説映像放映、ハンズオン展示を実施したほか岸壁採集イベントを実施した。

(3) その他展示や活動の状況

事業内容	期 間	内 容
観桜会サクラ企画の実施	前年度 3月25日(土)～4月12日(水)	「高田城址公園観桜会」に合わせ、観桜会水槽の設置や観桜会会場への活魚車の出張展示を4月1日(土)と8日(土)に実施した。 展示魚種：サクラダイ
バンドウイルカの定期的な遊具の作製	通年	バンドウイルカの飼育展示環境の更なる充実と動物福祉の向上を図るため、2ヶ月おきに行動目標を定めた遊具を作製、運用しており、運用結果を入館者に紹介するとともに、次回の遊具の作製に活かした。
うみがたりカレッジ公開講座「特大ヒラメの給餌解説」の実施	通年 ※水、日曜日のみ の実施	タッチングプールにおいて飼育展示している大型ヒラメへの給餌を通して、ヒラメの生態や摂餌について紹介する給餌解説を実施した。
「なおえつこども Labo」への出展	4月24日(月)	無印良品が行う「こどもだけのコミュニティスペース」をコンセプトにしたイベントに合

		わせ、無印良品 直江津で危険生物の観察会や海の遊び方についてレクチャーを実施した。
ウミガメ類の展示	4月22日(土)～ 10月9日(月・祝)	タッチングプールにて、串本海中公園より借用した「アオウミガメ」1個体、「アカウミガメ」2個体を期間限定で展示した。
G7 連動企画の実施	4月29日(土)～ 5月12日(金)	新潟県内での G7 開催に合わせ、生物および G7 への関心と理解を促すために 7 種のゲンゲ類 (G7) を展示した。
ゴールデンウィーク活魚車出展	5月7日(日)	GW の話題創出と上越市の PR を図るため、新潟市デンカビッグスワンスタジアムで行われたアルビレックス新潟対柏レイソル戦に活魚車を出展した。 展示魚種：アカメバル、ウスメバル
5周年施策「マゼランペンギンクラフトフェスタ コラボスタンプラリー」の実施	6月3日(土)～ 6月11日(日)	「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2023」に合わせて、イベント事前周知のため館内で完結するスタンプラリーを実施。また、イベント開催日には「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2023」会場内にスタンプ台を追加し、周遊施策として実施した。
5周年施策「5周年記念うみがたり検定」の実施	6月3日(土)～ 7月13日(木)	催事ホールにて旧施設・新施設にまつわる歴史の紹介およびクイズをパネルで掲示する参加型の展示を、7月2日までの期間を7月13日まで延長して実施した。
5周年施策「5周年記念 アクリルキーホルダー カプセルトイ販売」の実施。	6月3日(土)～ 7月29日(土)	5周年記念として、当館の生物 (バンドウイルカ・ゴマフアザラシ・マゼランペンギン・コブダイ・サクラダンゴウオ) のオリジナルアクリルキーホルダーをガチャ台で販売した。1個 300円 限定 5,000個。
夜間特別開館「ペンギンナイト」の実施	6月9日(金)・10日(土)	「magefes YOICHI」開催に合わせ、ペンギンに関するクイズ大会や絵本朗読会、他園館飼育員とのトークショーを含めた夜間特別開館を実施した。
「magefesYOICHI」との連携	6月9日(金)・10日(土)	まちなか回遊促進などの地域活性化を目的に、第一駐車場にて、マゼランペンギンクラフトフェスタ前夜祭とした飲食イベントが開催され、当館は連携して夜間特別開館を実施した。
「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2023」への参画	6月10日(土)・11日(日)	マゼランペンギンや水生生物をテーマとした全国各地の作家による手作りアート作品のマーケット「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2023」に実行委員として参画した。

「あつまれ どうぶつの森 × 上越市立水族博物館 うみがたり 海の生きもの ふれあい展」の実施	6月15日(木)～ 9月18日(月・祝)	任天堂株式会社の Nintendo Switch™用ゲームソフト『あつまれ どうぶつの森』とのコラボレーション企画を実施。ゲームに登場するキャラクターによる解説パネルや、フォトスポット、キャラクターのぬいぐるみを館内に多数設置して、ゲームとリアルを楽しみながら、生きものについて学ぶことができる内容とした。また館内を回るスタンプラリーを行い、より記念になるイベントとした。
「水族博物館うみがたりオープン5周年記念イベント」への参画	6月24日(土)	直江津まちづくり活性化協議会を中心としたイベント実行委員会に参画し、第一駐車場や直江津各施設でイベントを開催した。
「シーサイドカーニバル2023」への出展	6月25日(日)	道の駅マリンドリーム能生で開催される「シーサイドカーニバル2023」に活魚車を出展した。 展示魚種：コブダイ、スギ
アザラシ給餌イベントの実施	7月15日(土)～ 8月27日(日)	7月に展示デビューした子獣を含め、当館のアザラシについて解説するイベント「知ってる？うみがたりのゴマフアザラシ」を実施した。
「うみがたりの自由研究2023」の実施	7月15日(土)～ 8月27日(日)	夏休みの宿題(自由研究)の参考になるよう、飼育スタッフが行った研究などをまとめ、ポスターや実物標本の展示、レクチャーを実施した。
夜間特別開館 「発見！探検！ナイトアクアリウム」の実施	7月15日(土)・22日(土)・29日(土)・8月5日(土)・19日(土)・26日(土)	週替わりのプログラムを楽しむことができる「発見！パート」と、暗闇の夜の館内観察やウミホテル発光実験ができる「探検！パート」の2部制で行う夜間特別開館を実施した。 7月15日：虫眼鏡観察・レクチャー 7月22日：大人のおひとりさま水族館 7月29日：水中ドローンを使った大水槽観察 8月5日：虫眼鏡観察・レクチャー 8月19日：北里大学マリンサイエンスセミナー 8月26日：ながさき一生氏によるトークショー
ワークショップ「真珠取り出し体験」の実施	7月22日(土)～ 10月1日(日)	本物のアコヤ貝から真珠を取り出す体験ができるワークショップを自主事業として実施した。
シニア企画の実施	9月1日(金)～ 9月18日(月・祝)	敬老の日にちなみ、国内飼育最高齢であるゴマフアザラシ「ジロー」について紹介する「ゴマフアザラシのジローのおはなし」を実施した。

ゴマフアザラシ子獣 愛称発表	募集：7月29日(土)～8月29日(火) 発表：9月16日(土)	令和5年3月11日に誕生したゴマフアザラシの子獣について愛称を募集し、応募総数15,980通の中から、愛称を「フタバ」に決定し、発表した。
「うみがたりガーデン2023」(アクアポニックス)の実施	9月23日(土・祝)～11月26日(日)	新潟県立海洋高等学校と共同で、フィーディングプールの飼育水を利用した水耕栽培(アクアポニックス)を実施。収穫作物を当館の藻食性魚類の餌とする循環型の飼育展示を行うとともに、その仕組みや成果について生徒によるレクチャーを実施した。
ハロウィン企画の実施	9月30日(土)～10月31日(火)	館内装飾のほか、ハロウィンを題材とした楽曲を使用したドルフィンパフォーマンスやイワシ給餌イベントを実施した。
夜間特別開館 「うみがたりハロウィンナイト2023」の実施	10月28日(土)	ハロウィンにちなみ来館者、スタッフともに仮装し、クラフトコーナーやキャンディープレゼントタイムを設け、ハロウィンバージョンのパフォーマンスを行う夜間特別開館を実施した。
「姉妹都市と上越市の観光と物産展」への出展	9月30日(土)・10月1日(日)	直江津屋台会館で実施された上越市の姉妹都市と友好都市の観光・物産展に出展。当館の紹介ブースの設置や「うみくん」のグリーティングを実施した。
「ちびゴジラとまなぶ謎解きSDGs」の実施	10月14日(土)～11月30日(木)	海洋環境問題に関する「謎」を専用キットと館内のヒントを基に解き明かしていく謎解きイベントを実施した。
「なおえつ鉄道まつり2023」への参画	10月14日(土)	直江津の鉄道にまつわるイベントに参画。佐渡汽船ターミナルへの活魚車出展や、入口周辺にスタンプラリーポイントを設置した。 展示魚種：コブダイ、ホウボウ、ドチザメなど
アート作品展「イルカの造形美 シュプリングン-飛翔 宮田亮平の世界展」の開催	10月21日(土)～11月19日(日)	佐渡市出身で金工作家の宮田亮平氏の作品7点を館内に展示。小林古径記念美術館と合同開催し、小林古径の魚に関する作品3点を館内に展示した。
「豊漁大感謝祭2023」への出展	10月28日(土)	道の駅「マリンドリーム能生」のイベントにおいて、活魚車を出展した。 展示魚種：ドチザメ、トラザメ、ツボダイ、サギフェなど。
「上越市農林水産フェスティバル」への出展	10月28日(土)	上越市の農林水産業の魅力を身近に感じてもらう「上越市農林水産フェスティバル」へ出展。「うみがたりガーデン」のアクアポニックスの取り組みについてパネル掲示した。

「いつものもしも CARAVAN」への出展	11月11日(土)・12日(日)	楽しく防災を学ぶことができる地域一体型のイベント「いつものもしも CARAVAN」に出展。当館の紹介ブースの設置や「うみくん」のグリーティングを実施した。
「上越市教育コラボ 2023 学び愛フェスタ」への出展	11月13日(月)～20日(月)	教育イベント「上越市教育コラボ 2023 学び愛フェスタ」において、「うみがたりガーデン」のアクアポニックスに関するパネルを展示した。
「軽井沢グッド・ホリデーズ」への出展	11月18日(土)・19日(日)	軽井沢・プリンスショッピングプラザのイベントにおいて、活魚車の出展および生態解説や、チラシ配布など販促活動を実施した。 展示魚種：ウツボ、メバル、サギフエ、ドチザメなど
クリスマス企画の実施	12月2日(土)～12月25日(月)	館内装飾、うみがたり大水槽におけるサンタクロースの仮装をしたダイバーによる水中給餌や、クリスマスの要素を取り入れた「Art of Dolphin」、「舞鰯 Shinyllusion」などを実施した。
夜間特別開館「クリスマスナイト 2023」の実施	12月23日(土)	クリスマスに合わせ、クリスマスカラーのドレスコードの方へのノベルティプレゼントやクイズ大会など、誰でも楽しめる特別プログラムを行う夜間特別開館を実施した。
干支ダイバー引継ぎ式・先行プレイイベントの実施	12月26日(火)	12/27(水)から始まる正月企画に先立ち、「兔」「辰」の干支ダイバーによるバトンタッチ引継ぎ式、干支引継ぎ水槽、「Art of Dolphin」「舞鰯 Shinyllusion」の先行公開を実施した。
正月企画の実施	12月27日(水)～1月8日(月・祝)	館内装飾、「辰」にちなんでうみがたり大水槽における「辰」衣装ダイバーによる水中給餌、催事ホールにおける干支水槽、食文化の観点を織り込み、サケの受精卵をイクラ丼に模した展示や、おみくじ販売、3階ロビーにおける上越の風景を表現した水槽設置などを実施した。
バレンタイン、ホワイトデー企画の実施	1月17日(水)～3月14日(木)	館内装飾、うみがたり大水槽におけるダイバーによる給餌イベント、来館やショップ利用ごとにスタンプがたまり一定数に到達するとブロマイド風カードをプレゼントする「通ってちょうだい！ブロマイド」や、バレンタイン・ホワイトデーの要素を取り入れた「Art of Dolphin」などを実施した。

十日町「里山スノーリッチ*マーケット」への出展	3月16日(土)	越後妻有交流館キナーレで開催された「里山スノーリッチ*マーケット」において、活魚車による出張展示を実施した。 展示魚種：サクラダイ
ハッピーモーニング 2024 の実施	3月23日(土)	年間パスポート所持者への感謝と入館促進を図るため、開館前の時間帯に年間パスポート所持者を対象として、公開トレーニングやバックヤードの一部公開などの特別プログラムを含めた早朝特別開館を実施した。

## 2 教育普及事業

新型コロナウイルス感染症と社会経済活動の両立に向けた動きの進行に合わせ、入館者の興味や学習ニーズに応えるとともに、教育普及を進めることができた。

### (1) 教育プログラム（定期実施）

区分	プログラム	件数	人数
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	504	3,147
	夜間学習会	—	—
	自由研究支援	0	0
	サケ遡上観察会、サケ放流	3	29
	うみがたりこどもインターンシップ	6	27
	エコもっとFree	6	89
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー	32	672
	リモートバックヤードツアー	0	0
	館内ガイドツアー	3	16
	レクチャー	6	188
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー	39	724
	リモートバックヤードツアー (施設⇄屋台会館)	0	0
	リモートバックヤードツアー (施設⇄学校)	1	60
	館内ガイドツアー	3	31
	レクチャー	25	1,431
	職場体験	3	9
	職業インタビュー	0	0
	出張授業	4	83
	エコもっと	2	70

(2) その他のプログラム（不定期実施）

事業内容	期 間	
「うみがたりの自由研究 2023 宿題お助けレクチャー」の実施	7月30日(日)・ 8月6日(日)・ 20日(日)	「うみがたりの自由研究 2023」の一環として、イルカスタジアムにて夏休みの宿題（自由研究）の参考となるよう海の危険生物や海洋ゴミ、イルカの生態についてのレクチャーを実施した。
うみがたりカレッジ公開講座「おかえりサーモン2023」の実施	11月11日(土)	11月11日の「鮭の日」に、イルカスタジアムにてサケの生体を用いた解説イベントを実施した。
うみがたりカレッジ出張講座「おかえりサーモン2023 鮭遡上観察会」の実施	11月11日(土)・ 18日(土)	桑取川漁業協同組合と連携し、サケの遡上についての学習と河川の清掃活動を行う参加体験型プログラムを実施した。
「うみがたりガーデン2023 特別レクチャー」の実施	11月23日(水・祝)・ 25日(土)	「うみがたりガーデン2023」の一環として、イルカスタジアムにてアクアポニックスの解説や新潟県立海洋高等学校の生徒による当館との取り組み成果の発表を実施した。
うみがたりカレッジ出張講座「いってらっサーモン2023 サケの稚魚放流」の実施	3月23日(土)	サケの人工増殖について理解を促すために、桑取川において、水族博物館で孵化したサケの稚魚の放流体験を実施した。

### 3 調査研究

(1) 調査研究

○ マゼランペンギンの繁殖に関する調査

前年度の高病原性鳥インフルエンザの防疫措置が、5月6日までの屋内収容期間となったことを踏まえ、産卵時期が後ろ倒しになることが繁殖活動へどのように影響をするのかを検証した。

産卵開始は5月15日、最終産卵は6月8日で14組20卵の産卵、1羽のみの巣立ちとなり、全てにおいて例年を下回った。

また、暑さによる繁殖活動減退の根拠を示すことはできなかったが、雄雌分離飼育の長期化によるペア形成の遅れと繁殖活動の低下が産卵数の減少に影響したと推測される。

\*通常、夏の暑い時期は子育ても終わり親子ともにプールに入るが、子育て時期が暑い時期に重なると、親が巣から離れプールへ入り、育児放棄をする可能性が考えられた。

○ 上越地方におけるサクラダングオウオの分布に関する調査

新潟県内における前年度の出現情報を踏まえ、採集調査を5月17日と6月11日の2回実施した結果、サクラダングオウオが出現する時間のピークを把握するとともに、全17個体を採集した。過去に近隣漁港での採集にも成功しているため、孵化後の成長速度を踏まえ、11月下旬から産卵のために接岸する成熟個体の出現調査も実施したが、当該時期の個体発見はできなかった。

○ サクラダンゴウオの長期飼育、繁殖に関する研究

令和5年3月に孵化に成功し、飼育下繁殖個体の長期飼育を進めた。適正飼育環境や餌量を探るとともに、水温調整や機具の消毒などを実施することで、致死率の低下につながった。9月に孵化後6か月が経過したため、公益社団法人日本動物園水族館協会の初繁殖認定を申請している。繁殖個体の二次性徴が確認されたため、産卵床を水槽内に設置すると、令和6年1月に産卵が確認された。

○ 上越市内におけるキタノアカヒレタビラの保全に関する調査

上越市内のキタノアカヒレタビラ生息水域において、同種の生息数調査、二枚貝生息数調査、外来種駆除を実施した。また新規放流池の選定とともに、同水域における生息種調査、二枚貝の移植実験を実施した。飼育個体の繁殖計画も進めていたが、十分な発情傾向が見られず、令和5年度は人工授精に至らなかった。

○ 鯨類の飼育環境に関する調査

上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の検証結果を踏まえ、鯨類飼育展示プールの風速や気温、個体の血液性状や餌成分などのモニタリング及び分析を継続的に実施した。得られた結果については、鯨類の飼育環境の更なる向上を図るため、鯨類の飼育展示に反映させている。

(2) 外部機関等との共同研究

- ペンギンの *Aspergillus* 症に関する微酸性電解水の効果に係る研究
- 鯨類の *Clostridium* 感染症に対する微酸性電解水の効果に係る研究
- ペンギンの AA アミロイド症の病理学的解析について

(3) 発表等実績

関係機関や関係団体の研究会等での発表を目指し、指定管理者（株式会社横浜八景島）のグループ園館（横浜・八景島シーパラダイス、アクアパーク品川、仙台うみの杜水族館）内での調査研究発表を実施した。

- 第6回飼育研究会：令和5年9月28日（木）
  - ・サクラダンゴウオの繁殖について
  - ・マンボウの輸送方法と飼育実績について
- 第7回飼育研究会：令和6年3月15日（金）
  - ・グループ園館におけるアマモの飼育環境についての比較
  - ・特別展「さとやま AQUARIUM」の実施について
- JAA 第4回水族館研究会：令和6年3月12日（火）、13日（水）
  - ・サクラダンゴウオの繁殖について

#### 4 施設・設備の機能向上

飼育展示設備の機能向上に取り組み、施設の魅力や機能をより一層高めた。

##### ○ 主な取組

項目	内容
空冷ヒートポンプモジュールチラー (CR-1-1、CR-1-2) オーバーホール	水槽の飼育水を冷却又は加温するための空冷ヒートポンプモジュールチラーの予防保全として、オーバーホールを実施した。
イルカプールろ過循環ポンプ (PF-64a) オーバーホール	イルカプールの飼育水をろ過循環するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
ブラインチリングユニット (BCR-1-1、BCR-1-2) オーバーホール	低水温水槽の飼育水を冷却するためのブラインチリングユニットの予防保全として、オーバーホールを実施した。
温水ボイラー (BO-1-2) オーバーホール	水槽の飼育水を加温するための温水ボイラーの予防保全として、オーバーホールを実施した。
日本海大水槽熱交換用ポンプ (PHX-13a) オーバーホール	日本海大水槽の水温を効率よく熱交換するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
イルカプール熱交換用ポンプ (PHX-64) オーバーホール	イルカプールの水温を効率よく熱交換するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。

## 5 情報発信

施設の認知度向上やブランド化を図り入館促進に繋げるため、報道機関に向けた情報発信や SNS による情報発信を行うとともに、さまざまな媒体において、水族博物館の展示や企画が情報として取り扱われた。

### (1) 情報発信

単位：件

区分	プレスリリース	情報誌	Twitter	Instagram	LINE	YouTube	Facebook	note	合計
4月	1	1	27	11	1	0	0	-	41
5月	2	1	42	20	2	0	0	-	67
6月	2	1	47	34	1	0	2	1	88
7月	2	1	64	30	2	0	1	1	101
8月	1	1	64	51	0	0	-	3	120
9月	2	1	35	39	2	0	-	2	81
10月	3	1	46	46	1	0	-	1	98
11月	1	1	47	15	1	0	-	0	65
12月	2	1	34	45	2	2	-	1	87
1月	4	1	22	14	2	0	-	0	43
2月	0	1	28	25	1	0	-	1	56
3月	3	1	38	43	2	1	-	1	89
合計	23	12	494	373	17	3	3	11	936

### (2) 報道機関等取扱

単位：件

区分	テレビ	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計
4月	11	12	2	109	4	138
5月	11	12	2	87	2	114
6月	11	20	8	111	8	158
7月	16	13	3	157	2	191
8月	13	13	3	45	3	77
9月	10	11	2	56	2	81
10月	10	13	1	95	5	124
11月	7	9	1	64	3	84
12月	14	18	2	116	3	153
1月	6	13	3	82	4	108
2月	9	4	0	31	2	46
3月	16	18	2	98	2	136
合計	134	156	29	1,051	40	1,410

## 6 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応状況

令和5年5月8日（月）に感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、これまで行っていた下記の施設利用に関する制限を全て解除した。

年月日	対 応	内 容
令和2年5月11日(月)～	タッチングプールの利用制限	タッチングプールの入水禁止を継続した。
令和3年1月1日(金)～	コロナ禍対応のプログラム実施	学校団体の要望を踏まえて開始したリモートバックヤードツアーを継続した。
令和3年4月29日(木)～	館内滞留者数制限の継続	館内滞留者制限（上限1,200人）を継続した。
令和4年4月1日(金)～	教育プログラムの再開	休止していた教育プログラムのうち、感染症対策上問題のないものを再開した。
令和4年4月6日(水)～	イルカスタジアムの入場者数制限の緩和	ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を従前の270人/回から400人/回に変更した。
令和4年4月29日(金)～ 5月8日(日)、7月16日(土)～18日(月)、8月11日(木)～8月16日(火)	インターネットを活用した入館予約の実施	館内滞留者を制限する中、入館待ちや混乱を防ぐため、インターネットを活用した入館予約システムを運用した。
令和4年12月6日(火)～	イルカホールの入場者数制限の緩和	水中ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を従前の80人/回から100人/回に変更した。

## 7 入館者数

新型コロナウイルス感染症の5類移行に合わせ、積極的な施策展開と情報発信を実施。

夏期に「あつまれ どうぶつの森 × 上越市立水族博物館 うみがたり 海の生きもの ふれあい展」を実施したことにより入館者数が大幅に増加した。

### ○ 月別入館者数

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有料	24,559	36,103	24,852	49,392	87,369	35,046	23,288	19,266	12,043	7,816	14,438	21,481
無料	88	182	104	894	1,039	395	283	276	133	111	180	595
合計	24,647	36,285	24,956	50,286	88,408	35,441	23,571	19,542	12,176	7,927	14,618	22,076
区分	合計											
有料	355,653											
無料	4,280											
合計	359,933											

繁忙期の入館者数

- ・ゴールデンウィーク期間（4月29日～5月7日）：26,164人
- ・お盆期間中（8月11日～8月16日）：32,991人
- ・年末年始（12月29日～1月3日）：4,770人※1月2日臨時

### ○ 年度別入館者数

単位：人

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
732,759	514,946	206,227	245,080	335,963	359,933

合計
2,394,908

## 8 入館者動向（入館者アンケートによる）

### (1) 男女別

単位：％

男性	女性	その他	合計
42.1	56.6	1.3	100.0

### (2) 年齢層別

単位：％

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
8.4	27.4	26.3	18.9	3.2	10.3	2.9	2.6	100.0

### (3) 形態別

単位：％

家族	友人	カップル・夫婦	1人	その他	合計
55.9	13.4	18.2	12.5	0.0	100.0

### (4) 交通手段別

単位：％

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	その他	合計
80.0	0.0	13.0	4.7	2.3	100.0

### (5) 居住地別

単位：％

上越	県内(上越以外)	長野	富山	その他	合計
16.8	21.3	22.4	8.7	30.8	100.0